

職リハ学会通信

No.171 2022年 9月発行

目次

第49回宮城大会のご報告	1P
運営理事会報告	3P
委員会報告	5P
ブロック活動報告	5P
会員投稿・報告	6P
事務局からのお知らせ	8P

第49回宮城大会のご報告

39年ぶりの宮城大会（第49回）盛会のうちに閉幕！
皆さま、ご協力ありがとうございました。

〈宮城大会閉幕〉

9月11日までのオンデマンド配信最終日を持ちまして、全宮城大会プログラムが無事終了したことをご報告いたします。登壇者の皆様、参加者の皆様大変おつかれさまでした。宮城大会いかがだったでしょうか。当初は参加申し込みが伸び悩みましたが、最終参加申込が270名と全国から多くのお申し込みがいただくことができライブ配信当日も各演題にたくさんの方をお迎えすることができました。

本大会のテーマで掲げていた「職業リハビリテーションにおける立場性を考える」が基調対談から出発し、大会各演題においても誰

のための、何のための職業リハビリテーションなのか、そして自分の立場や役割としてできることは何かを考えさせられる内容や意見交換が多かったように思います。改めて、相手の立場に立つ難しさとともに、立場性を探求し続ける姿勢に気づかされた学会だったように思います。

大会全プログラムとしては、オンデマンド配信（8/25-9/11）にて基調対談、大会主催ワークショップ（3本）、学会主催・鼎談、国際委員会主催・国際シンポジウム、研修委員会主催・教育講座（2本）、ライブ配信（9/27-9/28）にて、研究・実践発表（9本）、自主WS（8本）、